

問1 マルコ・ポーロが著した『世界の記述（東方見聞録）』の中で、日本は「黄金の国ジバング」として紹介されています。この記述が後の歴史に与えた影響として、最も適切な説明を選んでください。（2026年 茨城県公立入試 類似）

1. モンゴル帝国が日本への軍事侵攻（元寇）を決定する、最大の判断材料となった。
2. ヨーロッパ諸国がキリスト教を広めるために、日本を最初の布教地に選ぶ理由となった。
3. 東洋の富に憧れたコロンブスが、西回りの航路でアジアを目指す動機の一つとなった。
4. 日本との直接的な交易を求めて、スペインが種子島に鉄砲を伝える直接のきっかけとなった。

問2 排他的経済水域（EEZ）について、その制度の目的や内容を正しく説明しているものを選びなさい。（2019年 茨城県公立入試 類似）

1. 沿岸からの距離に関わらず、深海にある資源はすべて国連の管理下に置くため。
2. どここの国にも属さない海辺の資源を、世界中の国々が自由に分け合うため。
3. 沿岸国の主権が完全に及ぶ範囲を広げ、他国の船舶の通行を厳格に制限するため。
4. 沿岸国が水産資源や鉱物資源を優先的に利用・管理し、自国の経済的利益を守るため。

問3 鎌倉時代において、源頼朝の死後に幕府の実権を握った北条氏が代々世襲した、将軍に代わって政治を司る役職を何というか、次の中から選びなさい。（2018年 茨城県公立入試 類似）

1. 執権
2. 関白
3. 管領
4. 老中

問4 日本の歴史を、(1)645年の大化の改新から743年まで、(2)743年から794年の平安遷都まで、(3)794年から1086年の院政開始まで、(4)1086年から1192年の鎌倉幕府成立まで、という4つの期間に区切ったとします。このうち、かな文字が普及し、貴族の生活に即した日本独自の文化が最も栄えた期間はどれですか。（2024年 茨城県公立入試 類似）

1. 794年から1086年までの期間
2. 1086年から1192年までの期間
3. 645年から743年までの期間
4. 743年から794年までの期間

問5 鎌倉時代末期に「悪党」と呼ばれた人々が出現した背景や、その特徴について説明した文として最も適切なものはどれですか。（2018年 茨城県公立入試 類似）

1. 生活に困窮した武士や新興の農民などが加わり、荘園領主に年貢を納めることを拒んだ。
2. 元の襲来に備えるため、幕府の強力な統制下で九州の沿岸警備に従事した。
3. 幕府から正式な役職として任命され、公領や荘園の管理や警察の役割を担った。
4. 朝廷から東北地方の統治を任せられた独自の有力な武士団であり、広大な領地を所有した。

問6 福島県出身の科学者で、19世紀末から20世紀前半にかけて世界の医学界で活躍し、黄熱病などの研究のために中南米やアフリカへ渡った人物は誰ですか。（2025年 茨城県公立入試 類似）

1. 野口英世
2. 志賀潔
3. 北里柴三郎
4. 高峰譲吉

問7 豊臣秀吉による朝鮮侵略（文禄・慶長の役）によって断絶した日本と朝鮮の国交について、江戸幕府が対馬藩を仲介として行った対応と、その後の使節の派遣について述べた文として正しいものはどれか。（2018年 茨城県公立入試 類似）

1. 長崎の出島を窓口として貿易を再開し、将軍の命令があるたびに朝鮮から使節が来日する体制を整えた。
2. 対馬藩の仲介により国交を回復し、将軍の代替わりなどの慶事に際して朝鮮から「朝鮮通信使」が派遣されるようになった。
3. 琉球王国を通じて外交交渉を行い、貿易の利益を分配するために定期的に使節が派遣されるようになった。
4. 薩摩藩の軍事力を背景に国交を強制し、謝恩使や慶賀使として大規模な使節団を江戸へ送らせた。

問8 日本の主な島の面積をまとめた統計において、北海道の東方に位置する北方領土の一つであり、その面積が約1489平方キロメートルと、沖縄県の沖縄島（約1209平方キロメートル）よりも広い面積を持つ島として正しい名称を答えなさい。（2022年 茨城県公立入試 類似）

1. 択捉島
2. 国後島
3. 淡路島
4. 佐渡島

問9 1872年に日本初の鉄道が開通した当時の社会情勢や背景を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。（2021年 茨城県公立入試 類似）

1. 文明開化の風潮の中で、西洋の技術や制度を導入して国力を高めようとしていた。
2. 鎖国体制を維持したまま、国内の物流を活性化させるために幕府が建設を主導した。
3. 日清戦争の勝利を受けて、工業化を加速させるための全国的な鉄道網が完成していた。
4. 重化学工業が発展し、原料の輸送を効率化するために民間の資本によって建設された。

問10 アフリカの産業に関する歴史をまとめた資料において、植民地支配の影響で形成された大規模農園である「プランテーション」の現代における特徴や課題を説明した文として、誤っているものはどれですか。（2022年 茨城県公立入試 類似）

1. 土地の所有者や経営主体は、かつての宗主国であるヨーロッパなどの外国資本や大企業であることが多い。
2. 現地の食糧不足を解消するために、トウモロコシやイモ類を多品種生産し、地域内での流通を優先している。
3. 国際価格の変動によって国の経済が大きく左右される、モノカルチャー経済の要因の一つとなっている。
4. 生産される作物は、カカオやコーヒー、天然ゴムなどの特定の輸出用作物に限定されることが多い。

問11 電気、ガス、水道などの料金は、民間企業によって提供されている場合であっても、政府がその決定や認可に関わっています。このように、公共料金が市場の自由な競争にすべてを任せず、政府が管理に関与している理由として最も適切な説明はどれですか。（2023年 茨城県公立入試 類似）

1. 国民生活に不可欠なサービスであるため、価格の急激な変動を抑えて家計の安定を図る必要があるから
2. 供給する企業の利益を最大化させることで、その地域における独占的な地位を保護するため
3. 需要が供給を大きく上回った場合に、価格をあえて高く設定して消費者の利用を制限するため
4. 市場経済から計画経済へと移行し、すべての商品の価格を政府が管理する準備を進めるため

問12 北陸地方など、冬にシベリア方面から吹き付ける冷たく湿った季節風の影響を強く受ける地域について述べた文章として、最も適切なものを選んでください。なお、この地域では12月や1月の降水量が非常に多く、気温が0度近くまで下がることが統計で示されています。（2020年 茨城県公立入試 類似）

1. 冬は太平洋側からの季節風によって乾燥した晴天が続くため、大規模な灌漑施設の整備が発達した。
2. 夏に発生する冷害を避けるために、冬の間の積雪を保存して冷房として利用する産業が発達した。
3. 台風による被害を受けやすい時期と農作業が重なるため、風を防ぐための高い生垣を作る文化が発達した
4. 冬は積雪が多く屋外での農作業が困難になるため、家の中で行う副業として手仕事が発達した。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 東洋の富に憧れたコロンブスが、西回りの航路でアジアを目指す動機の一つとなった。	「屋根や床が黄金でできている」という誇張を含んだ日本の紹介は、ヨーロッパの人々の探検欲を強く刺激しました。コロンブスはこの記述を信じ、大西洋を渡れば黄金の国ジバングや中国に到達できると考え、航海に出ることが知られています。
問2	答え 4 沿岸国が水産資源や鉱物資源を優先的に利用・管理し、自国の経済的利益を守るため。	1982年に採択された国連海洋法条約により、沿岸から200海里までの資源に対する権利が認められました。これは、大型漁船による乱獲を防ぎ、自国の沿岸にある資源をその国が持続的に利用・管理できるようにすることを目的としています。日本は多くの島々を持つため、領土面積に比べて非常に広い排他的経済水域を保有しています。
問3	答え 1 執権	鎌倉幕府を開いた源頼朝の死後、有力な御家人であった北条氏が政治の主導権を握りました。北条氏は将軍を補佐しつつ、実際には幕府の最高責任者として振る舞う「執権」という立場を世襲し、北条泰時の時代に制定された御成敗式目などを通じて独自の政治体制を確立しました。
問4	答え 1 794年から1086年までの期間	国風文化は平安時代の中期、特に摂関政治が行われていた時期を中心に発展しました。794年の平安京遷都から、白河上皇が院政を開始する1086年までの期間がこれに該当します。この時期は遣唐使の停止（894年）を経て、日本の風土に合った洗練された文化が開花しました。
問5	答え 1 生活に困窮した武士や新興の農民などが加わり、荘園領主に年貢を納めることを拒んだ。	悪党は、幕府の統制が弱まる中で各地に現れました。彼らは荘園領主による支配に抵抗し、年貢を差し押さえるなどの行動をとりました。この悪党の勢力は、後に後醍醐天皇による倒幕運動（楠木正成など）と結びつき、鎌倉幕府を滅亡へと追い込む重要な社会的要因の一つとなりました。
問6	答え 1 野口英世	近代日本の科学技術が世界水準に達した時期に活躍した細菌学者です。福島県の農家に生まれ、左手の火傷という逆境を乗り越えて医学を志しました。アメリカのロックフェラー医学研究所を拠点に、黄熱病や梅毒の研究で国際的な名声を得ましたが、自身も西アフリカのガーナで黄熱病に感染し、研究半ばで亡くなりました。
問7	答え 2 対馬藩の仲介により国交を回復し、将軍の代替わりなどの慶事に際して朝鮮から「朝鮮通信使」が派遣されるようになった。	徳川家康は朝鮮との関係改善を図り、地理的に朝鮮に近い対馬藩の宗氏を仲介役として交渉を進めました。その結果、1607年に国交が正式に回復し、以後、将軍の代替わりなどの機会に「朝鮮通信使」が派遣されました。これは江戸幕府の権威を国内外に示す役割も果たしていました。
問8	答え 2 国後島	北方領土は択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島の島々から構成されています。このうち国後島は、北方領土の中で択捉島に次いで2番目に大きな島です。その面積は約1489平方キロメートルに及び、沖縄県で最も大きい島である沖縄島（約1209平方キロメートル）を上回る規模であることを把握しておくことが重要です。
問9	答え 1 文明開化の風潮の中で、西洋の技術や制度を導入して国力を高めようとしていた。	明治時代初期、政府は欧米諸国に対抗できる近代国家をつくるため、「富国強兵」や「殖産興業」を掲げました。鉄道の開業は、人力車や馬車に代わる新しい交通手段として、文明開化を象徴する出来事となりました。日清戦争や重化学工業の発展は明治時代中期以降の出来事であり、鉄道建設は政府が主導しました。
問10	答え 2 現地の食糧不足を解消するために、トウモロコシやイモ類を多品種生産し、地域内での流通を優先している。	ブランテーションは世界市場への輸出を目的として特定の作物を単一栽培（モノカルチャー）する形態であり、現地の食糧自給を目的とした多品種生産とは対照的な性質を持っています。そのため、特定の作物の国際価格が暴落すると、その国の経済全体が深刻な打撃を受けるといった構造的な課題を抱えています。一方で、焼畑農業などは自給的な小規模農業にあたります。
問11	答え 1 国民生活に不可欠なサービスであるため、価格の急激な変動を抑えて家計の安定を図る必要があるから	公共料金の対象となるサービスは、生活を維持する上で代わりがきかない重要なもののばかりです。これらを完全に市場原理（自由競争）に任せてしまうと、企業の都合で価格が急騰したり、供給が不安定になったりして、国民生活が混乱する恐れがあります。そのため、政府が価格決定に関与することで、国民が安定的かつ公平にサービスを受けられるよう配慮されています。
問12	答え 4 冬は積雪が多く屋外での農作業が困難になるため、家の中で行う副業として手仕事が発達した。	日本海側の地域では、冬にシベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が日本海を渡る際、対馬海流の影響で水蒸気を多く含みます。これが日本の骨格をなす山脈にぶつかすることで、世界的な豪雪地帯となります。冬の間は積雪によって農作業ができないため、農家の貴重な現金収入を得る手段として、家の中で行う織物や漆器づくりなどの副業が盛んになり、現代の伝統的工芸品や地場産業の基礎となりました。